

令和7年度

第3回 有玉小学校運営協議会

【7月2日（水）3日（木）5年生臨海学校】

浜松市立有玉小学校

令和7年10月7日（火）

次 第

- | | | |
|-----|------------------|-------------|
| (1) | 会長・校長挨拶 | 13:15～13:20 |
| (2) | 会議録確認 | 13:20～13:22 |
| (3) | 6年生授業への参加についての説明 | 13:22～13:25 |
| (4) | 6年生授業への参加 | 13:30～14:05 |
| (5) | 議長選出 | 14:10～14:12 |
| (6) | 熟議 | 14:12～14:50 |
| | ○ 参観学級グループごとに | |
| | ○ 共有・まとめ | |
| (7) | 報告 | 14:50～15:00 |
| | ○ 学校支援活動について | |
| | ○ その他 | |

今後の予定

第4回 12月 8日(月) 10:00～11:30

第5回 2月17日(火) 10:00～11:30

※委員の皆様の御都合で、日程が変更する場合があります。

令和 7 年度

有玉小 学校運営協議会 委員名簿 (敬称略)

	氏 名	役 職
会 長	石田 隆康	積志地区自治会連合会副会長 有玉団地自治会長
委 員	中村佐佳恵	主任児童委員
委 員	山本 恭子	積志地区民生委員・児童委員
委 員	松原 廣	東畑屋自治会長
委 員	高林 和行	有玉小 P T A 顧問
委 員	村田 実佳	有玉小 P T A 会長
委 員 学校支援コーディネーター	高林 愛子	元有玉小 P T A 副会長

有玉小学校職員

校 長	伊藤 千恵	
教 頭	上野 仁悟	
主幹教諭	本楳 俊介	
C S 担当教員	中城幸之助	
C S ディレクター	安村 有季子	

オブザーバー・浜松市教育委員会

	氏 名	所 属
オブザーバー	小池 誠	積志協働センターCS 担当
浜松市教育委員会	牧野 知子	浜松市教育委員会総務課

令和7年度 第2回 有玉小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 2025年 6月25日(水) 13時15分から15時00分まで
- 2 開催場所 有玉小学校 図工室
- 3 出席委員 石田 隆康、山本 恭子、松原 廣、高林 和行、村田 実佳
高林 愛子(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 中村 佐佳恵
- 5 オブザーバー 小池 誠(積志協働センター)
- 6 学 校 伊藤 千恵(校長)、上野 仁悟(教頭)、本桎 俊介(主幹教諭)
中城 幸之助(CS 担当教員)、安村 有季子(CSディレクター)、及び全教員
- 7 教育委員会 牧野 知子
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 安村 有季子
- 10 議長の選出

前回の協議会において、議長の選出について、松原 廣委員を推挙する旨の発言があったことを司会が確認し、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1)授業参観
- (2)熟議(子供たちの学びの様子について)
- (3)報告

12 会議記録

司会から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)授業参観(13時25分から14時5分まで)

○授業参観について説明(教頭)

- ・低学年、中学年、高学年、ひまわり学級の4グループに分かれて自由に参観。
- ・目指す子供像の知の部「自ら考え、学び合う子」の四つの視点、徳の部「自らがかわり認め合う子」の4つの視点について、子供たちの様子を見ていただくよう説明があった。また、後半の熟議では、運営協議会委員と教員との顔合わせと、熟議をする時間を設ける旨の説明もあった。

(2)熟議(子供たちの様子について)

議長の指示により、低学年、中学年、高学年、ひまわり学級に分かれてグループで意見交換を行った。各グループからは、以下の発言があった。

【低学年グループ(高林委員、村田委員、低学年各担任)】

◎子供たちの良さ・強み

- ・挨拶がとってもよくできていて、素直な子が多い。
- ・4月に入学した1年生の成長がみられた。

◎今後の課題

- ・朝や旗振りの方への挨拶や、職員への挨拶が少ない。
- ・子供との関係ができ、心を開いているかどうかで挨拶ができたりできなかったりする。

【中学年グループ(松原委員、小池オブザーバー、中学年各担任)】

◎子供たちの良さ・強み

- ・タブレットを1人1台使って静かに学習している様子が見られた。
- ・昼休みは元気な子供が多く運動場が溢れ返るくらい元気に遊んでいた。
- ・予定帳が無いため、子供自身で1週間の予定を確認し、テスト等の見通しが立てられている。
- ・「ありがとう」が自然に言える子供が多い。

◎今後の課題

- ・自分の考えを言えていない児童もいる。発表で指名した際に、皆に対してではなく教員に意見を言う傾向がみられる。
- ・改善案として、授業で自分の考えを伝えられる場を教員が作るのが良いのではないか。
- ・打たれ弱い子供もいる。保健室では『心の日』を設け、レジリエンス高めて自分らしさを出せるようにしている。

【高学年グループ(石田委員、高林愛子委員、低学年担任)】

◎子供たちの良さ・強み

- ・個性豊かな子供達を生かして授業をしていた。
- ・タブレットを用いて授業をしていた。
- ・6年生は話し合いが活発にできていた。

◎今後の課題

- ・メリハリを付けられていない。
- ・学力差がある。学習の積み重ねで5、6年生は個人差がある。
- ・5、6年生は学習内容が難しくなっており、時間が足りない子供への指導が手厚くできていない。
ボランティアさんに入っていたいただいても、専門の指導者の人材の確保や時間の確保等色々な課題がある。

【ひまわり学級(山本委員、ひまわり学級教員)】

◎子供たちの良さ・強み

- ・45分間ずっと授業に参加できるところがひまわりの子の強み。
- ・実態にあった個別支援や、一人一人に合った声掛けをしている。

◎今後の課題

- ・特性上、長時間の集中が難しい子や自分のリズムが崩れてしまうと落ち着かない子もいる。
ルーティン化してあげる方がよいのではないか。
- ・難しい事に挑戦する気持ちをどうやって育てるかが課題。
- ・素直な子供が多いので、頑張ったら褒めてあげる。
- ・見通しをもてるように1日の予定を伝え、子供たちの安心に繋がるようにする。

- ・言葉だけでは伝わり難い言葉もあるので、目でも確認が出来るように ICT を使って意思確認をする。
- ・できる事を自分で選択できるように心掛ける。

【まとめ(校長より)】

子供たちの目の前にいる担任と委員と一緒に話をした事で、参観するだけでは見えないような部分も委員の方に知っていただける機会になったと思う。

互いに理解し合い、課題や良さを共有し、これからより良い有玉小と一緒に作っていくための第一歩になったと思う。

(3)報告

学校支援コーディネーター高林愛子委員より、学校支援活動について報告があった。

◇5月 6年生 裁縫サポート、1年生 朝顔 種植えサポート
2年生 野菜 苗植えサポート、6年生 安全サポート

◇6月 2年生 町探検サポート、園芸委員会と校舎南側の花壇の花の苗植え作業
CS 掲示板作成、4年生 郊外学習 安全サポート
ひまわり学級 3年生 町探検 安全サポート
ひまわり学級のプールの見守りサポート
本読み トトロの会、ひまわり1組の支援

◇6月後半～活動計画

読み聞かせ トトロの会、花壇の水やり、雑草取りの環境サポート
2学期5・6年生家庭科ミシン、
3年生 鳩打谷公園・地蔵平公園の総合授業、有玉神社の氏子さんの授業
4年生 琴の授業、ひまわり学級の支援
新しいサポート(案)

その他報告事項等

議長から、次回の議長選出について委員に意見を求めたところ、高林和行委員が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。司会から、次回会議は2025年10月7日(火)午後1時15分から午後3時00分の日程で開催する旨の報告があった。

令和7年度 有玉小学校グランドデザイン



校章：
玉をつつむ手、羽ばたく鳥
の2つの意味が込められている

学校教育目標

みがこう 自分・かがやこう 仲間と

第4次浜松市教育総合計画

～ 描く夢や未来の実現 ～

- ・自分らしさを大切にすることも
- ・他者と協働し、主体的に行動できることも
- ・自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

学校経営の理念

つながりの中で 互いに
認め合い 支え合い 磨き合い 高め合う

積志中校区めざす子供像

- ・学校や地域で場に応じたあいさつができる子
- ・より多くの人との人間関係を深めていことができる子
- ・家族と地域に感謝し、夢に向かって努力する子

合言葉



目指す子供の姿

自分らしさを大切に、他者と協働し合い、粘り強く取り組む子

認め合う子 支え合う子 磨き合う子 高め合う子

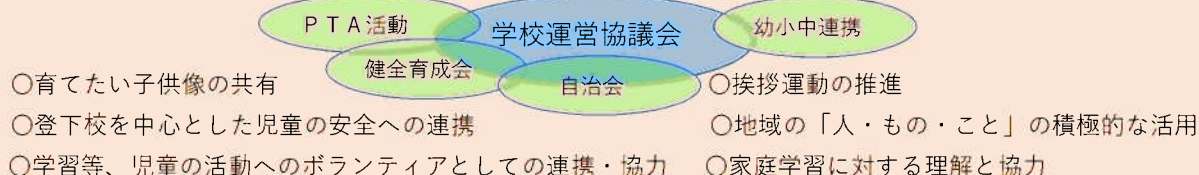
取組（P:計画、D:実践）

目指す子供像	知 確かな学力	徳 豊かな心	体 健やかな体
認め合い できた いいね	【自ら考え、学び合う子】 ◎表現力や思考力を身につかせ、個別最適な学びや共同的な学びを通して自分の考えを広げ、伝えることができる子 □自分の考えを持つ	【自らかかわり認め合う子】 ◎振り返ったり、認め合ったりする場を増やし、自信をもって自分や友達のよいところを言える子 □自分のよさを知る	【自ら鍛え、高め合う子】 ◎心身の健康のために、運動や保健を通して、仲間と共に高め合い、進んで運動に親しんだり、健康や安全に気を付けて生活したりしようとする子 □いろいろな運動の楽しさを実感している
支え合い ありがとう	□自分の考えを分かりやすく伝える	□相手のよさを認め、助け合う	□仲間と共に活動に取り組む
磨き合い やってみよう	□自分の考えを広げる	□よりよくするための方法を自分で考えて、実践する	□心身の健康を育む
高め合い つなげよう	□学んだことを選んで使う	□よりよくする方法をみんなで共有し、生かす	□安全への意識を高める
	【自ら考え、学び合う子】 90%	【自らかかわり、認め合う子】 100%	【自ら鍛え、高め合う子】 90%

評価（C:振返、A:改善）

発達支援教育の理念に基づいた児童理解と支援

有玉小コミュニティスクール～家庭・地域と連携・協力し、共に歩む学校～



「チーム有玉」人づくり宣言（目指す学校の姿）

- 知・徳・体のバランスのとれた『未来の創り手』を育むことを目指します。
- 子供が自分らしく力を伸ばすことのできる学校・学級づくりを進めます
- 「すべての子供を、すべての職員で」支援や指導を進めます
- 互いに励まし合い、働きやすさと働きがいのある職員集団を目指します



6年生授業への参加について

授業の内容

○テーマ

「有玉小学校がもっと「かがやく学校」になるために」

- ・有玉小の良さを出し合い、今後、有玉小をどうしていきたいか、今の自分に何ができるかを話し合う。
- ・学校運営協議会委員は、子供たちの考えに対して意見を伝える。

メモ

